

# 安全最優先の工具

## SNS活用して発信

### PSアワード 経産大臣賞受賞

KTCは「第10回製品安全対策優良企業表彰（PSアワード）」の中小企業製造・輸入事業者部門において最高賞である「経済産業大臣賞」を2016年11月に受賞した。安全最優先の製品設計と製造工程のコントロールができていたり、工具の安全な使用方法に関する会員制交流サイト（SNS）を活用した情報発信などが評価された。安全を最優先に進めてきた製品開発や工具の安全な使い方の情報発信など、同社の安全に対する姿勢、日常的な活動の結果が受賞に結び付いた。

#### 破壊試験で確認

PSアワードは民間企業の製品安全に対する積極的な取り組みを促進し、社会全体として製品安全の価値を定着させることを目的と

#### PR

して、07年から実施されている。宇城邦英社長が「該当企業なしの場合もある」と言うように審査は厳しい。同社の製品開発においては、安全が最優先される。仮に作業の能率・効率が向上させるとしても、安全性が担保されなければ製品化されず、「安全、快適、能

### KTC

率・効率」を順守している。具体的な例では、壊れる時の安全性も考えて設計している。ラチェットハンドルは破壊試験による強度の妥当性確認を実施し、日本工業規格（JIS）規定値以上のトルクをかけ、想定した箇所が壊れるのを確認している。また、めがねレンチでもJIS規定値以上のトルクをかけ、想定したとおり破壊され、かけらが飛散しないことを確認済みだ。

率・効率」を順守している。具体的な例では、壊れる時の安全性も考えて設計している。ラチェットハンドルは破壊試験による強度の妥当性確認を実施し、日本工業規格（JIS）規定値以上のトルクをかけ、想定した箇所が壊れるのを確認している。また、めがねレンチでもJIS規定値以上のトルクをかけ、想定したとおり破壊され、かけらが飛散しないことを確認済みだ。

#### 作業履歴を管理

適切なトルク管理は作業者だけでなく、締結した製品の使用者の安全にもつながる。締結するハンドツ



次世代トレーサビリティシステムを実現したデジタルトルクレンチ「デジタルチェ」[メモルク]」

工具を使えば、作業者は適切なトルク値で締結したと記録し、数値で示せるようになる。さらにデジタルチェ「メモルク」は締結時のトルク値をパソコンなどに送信して作業履歴管理を可能にした画期的なシステム工具になった。

ルから、センサーを搭載したトルクを測定し数値を表示するラチェットハンドルである「デジタルチェ」が登場した。トルク値が分かる

## 次世代トレーサビリティ開発へ

順、作業記録が求められていたシステムを、現したデジタルトルクレンチ「デジタルチェ」[メモルク]」を開発を進めているのが「次世代作業トレーサビリティシステム」だ。デジタルチェ「メモルク」と連動したトルク値確認、スマートグラスを活用した作業完了時の自動撮影、無線識別（RFID）を利用したボルトの作業履歴の確認なども可能になる仕組みだ。

技術館を公開  
製品安全への取り組みとして、工具の安全な使用方法の教育と普及の場として、約3000アイテムの工具をそろえたショールームがあり、自動車整備を体験できる研修用ピットを備えている。15年には「東日本KTCものづくり技術館」（さいたま市桜区）を開設している。

同社のSNS公式サイトで新入社員が、なるほどと感じた工具の特徴をイラスト付きでレポートした内容が人気コンテンツとなり「なるほど！工具ノート」として書籍化された。工具の使い方の教科書的な本が少なく、イラスト付きで分かりやすい点も評価されている。

安全文化の発信も継続している。「KTCものづくり技術館」を本社敷地内に建設し、03年4月から一般公開した。工具の安全な使用方法の教育と普及の場として、約3000アイテムの工具をそろえたショールームがあり、自動車整備を体験できる研修用ピットを備えている。15年には「東日本KTCものづくり技術館」（さいたま市桜区）を開設している。



## デジタルチェ [メモルク]

作業履歴を記録し、確かなトルク管理を実現。

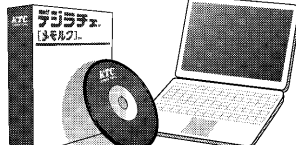


### 計測記録をパソコンへ送信！！

#### 作業内容を自動的に「記録・管理」

測定結果データの記録とデータ出力が可能！

管理システムをカスタマイズできる！



#### 期待される導入効果

- コストダウンが図れる！！
- 品質保証のレベルが向上する！！
- 安全が保障できる！！

製品の詳しい情報はデジタルチェ専用WEBサイトへ → <http://digital-ratchet.jp/>

**KTC** 京都機械工具株式会社